



Motivation and Creativity
for All Teens.

認定NPO法人カタリバ

年次報告

2018年度

2018年9月1日～2019年8月31日

どんな環境に
生まれ育っても、
未来をつくりだす力を
育める社会に

KATARIBA
Shape the Future

ご支援いただいた企業・団体の皆さま

教材や備品の寄贈、システムや会場の無償提供、職場訪問など、
さまざまな形で多大なるご支援・ご協力をいただき、心から感謝しています。



サッポロホールディングス株式会社

2011年より継続して、恵比寿麦酒祭りのビール売上相当額の一部を次世代育成として東北・熊本のコラボ・スクールへご寄付いただいている他、飲料水の提供など、さまざまなご支援をいただいています。



株式会社美健

2019年より、コラボ・スクールやアダチベース（東京都足立区）をはじめ、子どもたちの未来をつくる教育活動のためにカタリバ全体へご支援をいただいております。



リシャルミルジャパン株式会社

2013年より継続して、チャリティオークションの収益を東北のコラボ・スクールの運営費としてご寄付いただいています。



宗教法人救世軍

2016年より継続して、コラボ・スクール女川向学館（宮城県女川町）の運営費を、世界中の被災地支援を行う一環でご寄付いただいています。



メリルリンチ日本証券株式会社

2012年より継続して、コラボ・スクール大槌臨学舎（岩手県大槌町）へご寄付いただき、2016年からはアダチベース（東京都足立区）にご寄付をいただいています。



ヤフー株式会社

2012年より継続して、「Yahoo!ネット募金」に掲載いただき、寄付募集へご協力をいただいた他、2018年度は3.11企画内のチャリティオークション「買うは応援になる。」を通じてご支援いただきました。



株式会社大戸屋

2014年より継続して、期間限定メニューの売上の一部を、東北のコラボ・スクールへご寄付いただいています。また、アダチベース（東京都足立区）へは食材のご支援もいただいています。



モルガン・スタンレー

2014年より社員様のご寄付に会社へのマッチングギフトを合わせ、コラボ・スクールをはじめカタリバ全体の活動をご支援いただいている他、プログラミング講座や校舎の改修活動にもご協力いただきました。



株式会社チョイスホテルズジャパン

2016年より継続して、東北・熊本のコラボ・スクールへご寄付いただいている他、イベントの際は生徒たちの宿泊場所のサポートもいただいております。



株式会社ウィルグループ

2012年より東北のコラボ・スクールへご寄付いただいている他、特別授業を若手社員の方々と実施。また、災害時子ども支援アライアンス「sonaeru」初の連携先として、協定の締結も行いました。



キャピタル・インターナショナル株式会社

2016年より、アダチベース（東京都足立区）のキッチン設置費や西日本豪雨で被災した子どもたちへの支援など、多大なるご寄付をいただきました。



ユナイテッド航空

2019年よりアダチベース（東京都足立区）をはじめ、カタリバ全体の活動をご支援いただいている他、子どもたちの海外渡航航空券サポート、調理ボランティアや特別授業へもご協力いただきました。

株式会社ブラスト / 株式会社新緑 / ピーアークホールディングス株式会社 / もったいない本舗 / ドクターリセラ株式会社 / プリンセス・クルーズ / 横浜ゴム株式会社 / YOKOHAMAまごころ基金 / インヴァスト証券株式会社 / 美酒早慶戦実行委員会 / 株式会社アズパートナーズ / 株式会社イルミネネットワークス / スガ シカオ / 株式会社紀伊國屋書店 / 株式会社ドン・ヒラノ / 日広建設株式会社 / 南カリフォルニア日米協会 / コマツ / GFJapan株式会社 / トレックンテ合同会社 / Kyuentai e. V. / アイワビジネス株式会社 / アイワ不動産チャリティコンサート実行委員会 / ジビル調査設計株式会社 / ブラザーグループ / 株式会社CROSS / 八千代特殊金属株式会社 / 株式会社スマービー / 立正佼成会 足立教会 / ONE TENTH Project

株式会社LIFULL / 株式会社waja / Le voci / ラブフォー・ジャパン / コンパテックジャパン株式会社 / エンパワー・サポート株式会社 / ニュートンワークス株式会社 / 医療法人愛和会 / 株式会社データシステム / ファンケル もっと何かできるはず基金 / 男志會 / 日本青年国際交流機構 / 有限会社城山観光 / 特定非営利活動法人WE21ジャパン みなみ / ボランティアグループ ～気ままに古本市～ "Frivilliga japanska bokloppisen" / チャリティーマーケット / リゾートトラスト株式会社 / リ・カレント株式会社 / 株式会社ダブルエー・ホールディングス / ソフトバンク株式会社 / 株式会社バリューブックス / 16ミリ試写室（横須賀市） / 混声合唱団オーデンコール / アデコ株式会社 / ネクストジャパン株式会社 / 学校法人帝京科学大学 / 株式会社オーテック / 株式会社スタイルマネジメント / 株式会社フロム・エージジャパン / 名古屋経済大学高蔵高等学校中学校 / がんばる輪 / 株式会社Quark tokyo / 表千家京都青年部 / 株式会社マステック / 学習塾KOMABA / 株式会社イーエムグループ / S.F.P.C / スプリングバザー / チャリティーフリーマーケット有志一同 / WWE Japan合同会社 / 株式会社カリカン洋行 / F candles（エフ キャンドルズ） / 株式会社大翔スチール / クリフォードチャンス法律事務所外国法共同事業 / クイリングSTRIPE / あすてボランティア / 学校法人三木学園白陵中学校・高等学校生徒会 / コール染谷丘 / 福島工業株式会社 / 旧軽井沢ホテル音羽ノ森

※敬称略 ※その他にも多くの企業さま・団体さまからご支援いただきました

どんな環境に生まれ育っても 未来をつくりだす力を育める社会に

NPOカタリバは、どんな環境に生まれ育っても
未来をつくりだす力を育める社会を実現するために、
意欲と創造性をすべての10代が手にできる未来を目指して
活動しています。



【 島根県 】

島根県で、のべ**1,028人**の

小中高生に、キャリア教育・不登校支援を届けました。

島根県雲南市から委託を受けている「おんせんキャンパス」「教育魅力化推進チーム」は、「少子高齢化」や「人口流出」など、ふるさとの課題解決を担う人材の輩出を目指し、教育から地域の魅力化・活性化を応援しています。2018年度は、島根県内の970人の中高生にキャリア教育を届け、58人の小中学生に不登校支援を行いました。



全国の高校生**33,328人**がマイプロジェクトに挑戦しました。

高校生が地域や身の周りの課題を見つけ、解決に向けて実行する「マイプロジェクト」。2018年度は、全国の高校生33,328人に、探究的な学びを促進するためのサポートを届けました。2019年3月に開催したアワードには、562プロジェクト、2,717人がエントリー。アクションを重ねてきたチームや個人が発表を通して学び合い、得た学び・刺激を地元を持ち帰りました。

📍 マークはマイプロジェクトアワード地域Summit開催地



西日本豪雨災害支援

西日本豪雨で被災した高校生

108人が安心して高校に通えるよう、
通学や学校生活サポートを行いました。

岡山県立矢掛高校および矢掛町と協働し、西日本豪雨で被災した高校生108人への心のケアや通学が困難になってしまった場合の通学サポート奨学金を支給しました。



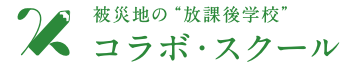
【 全国 】

高校生の心に、“火を灯す”授業
カタリ場

4,894人のボランティアキャストが**128校**、**20,463人**の生徒へ「ナナメの関係による本音の対話」を届けました。

高校生たちの意欲を高めるキャリア学習プログラム「カタリ場」を届ける出張型の事業。2018年度は、のべ4,894人のボランティアキャスト・全国の連携団体と共に、128校20,463人の高校生に「探究心に“火を灯す”授業」を届けました。

📍 マークはカタリ場実施地域



1,277人の東北の小中高生と、
990人の熊本の中学生に未来を思い描く力を届けました。

宮城県女川町、岩手県大槌町、福島県広野町、熊本県益城町の4拠点で震災の悲しみを強さに変え、未来を主体的に思い描く力を育むための心のケアと学習支援・キャリア教育を行っています。2018年度は、2,267人の東北・熊本子どもたちがコラボ・スクールを利用しました。



困難を抱える子どもたち**208人**に、
安心して学び、集える場を届けました。

東京都足立区から委託を受け、困難を抱える子どもたち向けの放課後学校「アダチベース」を運営しています。2018年度は、2拠点で208人の中学生を対象に、学習支援の他、食事の提供や体験活動などを行い、自律する力を育みました。



中高生の秘密基地を**4,375人**が利用しました。

東京都文京区から委託を受け、いつでも、なんでも挑戦できる中高生の秘密基地「b-lab(ビーラボ)」を運営しています。学習支援、音楽、スポーツなど様々なイベントを実施し、中高生自身がイベントに参加、参画する機会を作っています。2018年度は、文京区に在住・在学・在勤の中高生4,375人が利用しました。



日本中のすべての10代の 意欲と創造性を 引き出せる社会を目指して



代表理事
今村 久美



共同創業者
三箇山 優花

10代は、まだこれからなんにでもなれる時間です。どんな環境に生まれ育った10代も、未来はつくれると信じられる意欲と、知りたいことが広がり続ける創造性を手にできる当たり前をつくりたい。そんな想いと共に、形にならない日々にも悩みながら、たくさんの支援者の皆さまに支えられ、ここまで走り続けて、カタリバは

19年目を迎えました。私たちは、10代という繊細で多感な世代が、多様な人と出会い、語り、悩み、学ぶことのすべてが、予測不能な未来を生き抜く意欲と、創造性になると信じています。これからもカタリバは、日本中のすべての10代の意欲と創造性を引き出せる社会を目指して、取り組んでいきます。

「“こんな人になりたい”という 憧れが見つかる場所」

コラボ・スクール大槌臨学舎卒業生
(2019年現在、大学3年生)

コラボ・スクールは、ただ勉強するだけではなく、様々な人と関わる中で、やりたいことが見つかる場所でした。「この人みたいになりたい」という人と出会い、私もやってみたくて「やりたいこと」が明確になっていきました。震災がなければ、大切なものを失うことはなかったし、こんなにうれしい思いをすることはありませんでした。でも、震災があって大槌町にコラボ・スクールができて、支援してくださる方々がいたから、これから生きていく上で大切なものを得ることができたと思っています。

「私の可能性を広げてくれる 大切な場所」

アダチベースに通う生徒
(2019年現在、中学3年生)

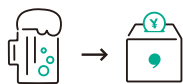
アダチベースは、私にとって大切な場所です。やりたいことができるので、少しずつ成長できているなど感じています。学校では学べないような話を聞いた時は、自分の考え方がより広がりました。また、苦しいときや涙の止まらないときなど、どんな日も寄り添ってくれて、道に迷ったときには光で照らしてくれる、スタッフの皆さんは私の大切な家族です。これからも、もっとたくさんアダチベースを利用して、たくさん勉強して、ここに通ってよかったと思うようにしたいです。

ご支援いただいた企業事例

このようなご寄付の方法もあります！

1

売上の一部をご寄付



例



期間限定のイベントで、生ビールの売り上げ等をご寄付いただきました。

2

ポイント還元によるご寄付



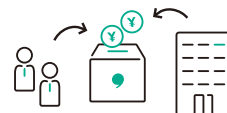
例



顧客が利用して貯めたポイントをご寄付いただきました。

3

マッチングギフトによるご寄付



例

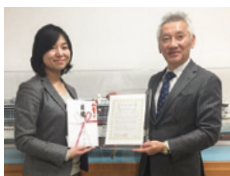


社員が寄付し、さらに会社が同額相当を上乗せする形でご寄付いただきました。

ご支援いただくと、CSR・広報活動にご利用いただけます

贈呈式

全国の拠点で対応可能です。内容によってはメディア誘致もご協力させていただきます。



見学ツアー

全国の拠点で対応可能です。社員研修の機会にもなるとご好評いただいております。



貴社名の掲示

コーポレートサイトや年次報告書等で貴社名やロゴの掲載をさせていただきます。（ご寄付の金額に応じた掲載となります）



これからご支援をお考えの企業の方へ

ご支援いただく方法は様々ございます。

下記の方法以外にもご希望に合わせて、ご相談をお受けすることが可能です。

社内での講演会

ランチタイムなどを利用して、興味のある社員様を対象に講演会をさせていただきます。

不要品・古本を通じたチャリティ企画

不要になった服や会社の倉庫で眠っている本などを集め、その売り上げをご寄付いただけます。

寄付つき自販機

社内に設置する自販機の売り上げの一部をご寄付いただけます。自販機用ポスターも作成します。

お気軽にお問合せください

認定NPO法人カタリバ

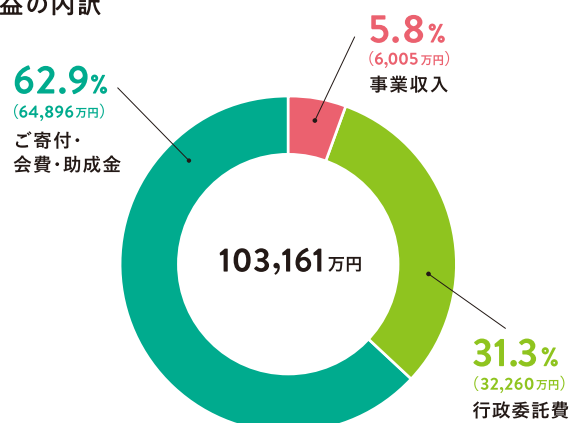
☎ 0120-130-227 (平日9時半～17時半)

活動計算書 (2018年9月1日～2019年8月31日)

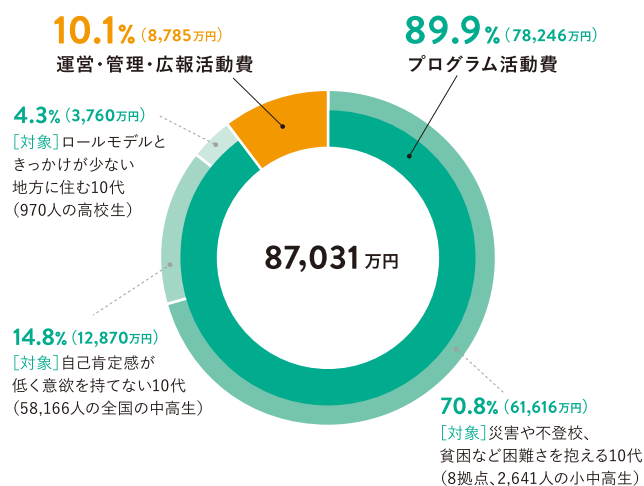
(単位:円)

科目		金額
一般正味財産増減の部	1 受取会費 正会員受取会費・賛助会員受取会費	5,310,000
	2 受取寄付金 受取寄付金・指定正味財産の部より受取寄付金振替額	625,353,805
	3 受取助成金等 受取国庫補助金等・受取民間助成金	18,296,327
	4 事業収益	
	人づくりを通じた社会活性化に関する事業収益	1,025,690
	キャリア学習イベント等活動の企画・実施事業収益	262,834,082
	災害等により学習環境に恵まれない人たちのための通信教育、学習相談その他の教育事業収益	112,362,408
	普及啓発事業収益	2,744,766
	5 その他収益 受取利息・受取配当金・雑収入	3,685,428
	経常収益 計	1,031,612,506
	1 事業費	
	人件費	380,655,689
	その他経費	464,202,678
	事業費 計	844,858,367
	2 管理費	
	人件費	15,429,223
	その他経費	10,022,638
	管理費 計	25,451,861
	経常費用 計	870,310,228
	当期経常増加額	161,302,278
	税引前当期一般正味財産増加額	161,302,278
	法人税、住民税及び事業税	578,000
	当期一般正味財産増加額	160,724,278
	前期繰越一般正味財産額	306,445,495
	次期繰越一般正味財産額	467,169,773
指定正味財産増減の部	1 受取寄付金	148,065,405
	2 受取助成金	18,197,147
	3 一般正味財産への振替額	▲ 221,087,773
	当期指定正味財産増加額	▲ 54,825,221
	前期繰越指定正味財産額	402,763,075
	次期繰越指定正味財産額	347,937,854
次期繰越正味財産		815,107,627

収益の内訳



費用の内訳



2018年度、カタリバは国内の8つの地域に拠点を運営し、西日本豪雨災害への支援を含め、61,777人(前年比20,620人増)の10代の子どもたちへの支援・伴走を行いました。経常費用は87,031万円。前年度比で13,284万円(18%)の増加となりました。今期の当期経常増加額は16,130万円。来期以降に繰り越し、複数年の事業計画を基に事業推進に充当していきます。東日本大震災被災地への寄付は減少傾向にあり、指定正味財産の費消が始まっております。2019年度以降、貧困世帯・過疎地域等の困難を抱える子どもたちへの支援ニーズは高まっており、また台風19号をはじめとした災害下の子どもたちへの支援活動も想定されます。今後も、より多くの困難な環境の子どもたちに対し、活動範囲を広げていきます。

未来は、つくれる。

KATARIBA
Shape the Future

認定NPO法人カタリバ

東京都杉並区高円寺南3-66-3 高円寺コモンズ2F

☎ 0120-130-227 (平日9時半～17時半)

カタリバ

検索

<https://www.katariba.or.jp>

Facebook NPOカタリバ Twitter @katariba